

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則並びに本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

10月4日（火）～10日（月）の期間は、「14. 練習会場使用上の注意事項」、「15. 練習会場使用日程」に基づき練習することができる。なお、練習に際しては、競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

(1) 招集所は、メイン競技場ゲート3（1500mスタート地点）の外側に設ける。

(2) 種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。

(3) 招集の方法

① 競技者は招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・スパイクピン・商標の点検を受けること。なお、代理人による点呼は認めない。

② 2種目同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻30分前までに所定の「2種目同時出場届」（監督会議時に配布。予備はメイン競技場ゲート3の外側に設置するT I Cに用意。）に記入し、T I Cに提出すること。

なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後、ただちにフィールド競技の競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。またフィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前に担当競技役員にその旨を申し出ること。

③ 棄権する場合は招集完了時刻の30分前までに「欠場届」（監督会議時に配布。予備はT I Cに用意。）をT I Cに提出すること。また、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したもものとする。

4. アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは主催者が4枚（胸・背・トレーニングシャツ・手荷物）を配布する。

(2) 着用については競技規則TR5を厳守すること。

(3) トラック競技に出場する競技者には写真判定用の腰ナンバー標識（2枚）を招集時に配布する。

(4) 競歩種目については、都道府県ナンバーと同じ番号の腰ナンバー標識を用いる。

5. 競技場への入退場について

(1) 競技場への入退場は、すべて競技役員の指示・誘導に従う。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い、ゲート2奥のミックゾーンを通り退場すること。

6. 競技の抽選並びに番組編成について（レーン順・試技順）

(1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定しプログラム記載の競技者ナンバーの左に数字で示す。

(2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、番組編成・記録速報所（メイン競技場2階ゲートC外側、第2競技場内、選手・監督控所内）に印刷物で掲示する。

(3) トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に、同記録があったときは、0.001秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める。（競技規則TR21）

ただし空きレーン、もしくは走路に余裕（スタート時に1列で整列できる場合）がある場合は、（800mは複数割当て可能。1500m、3000mはオープンレーン）同成績者は次のラウンドに進むことができる。

(4) 抽選が必要になった場合は当該競技者にアナウンスで連絡し、大会本部（メインスタンド1階）で当該競技者あるいは代理人により抽選を行う。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、主催者が代行する。

7. 競技及び競技方法について

(1)トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では競技者の安全のためにフィニッシュラインを通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則 TR16 により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- ⑤ スタート時の不適切行為については、競技規則 TR16 を適用する。
- ⑥ 競歩種目の警告電光掲示板は、都道府県ナンバーで表示する。

(2)フィールド競技について

- ① フィールド競技の計測は、光波距離測定器を使用する（走高跳を除く）。
- ② フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。フィールド競技の練習は、原則2回とする。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
- ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2つ置くことができる。また、砲丸投・円盤投・ハンマー投は、サークルの直後に主催者が用意したマーカーを1つ置くことができる。使用するマーカーは現地において競技役員が渡す。
- ④ 棒高跳の競技者は、あらかじめ支柱の位置を所定の「アップライト申告書」（監督会議時に配布。予備はT I Cに用意。）に記入し、招集時に競技者係に提出すること。
- ⑤ 成年男子三段跳は13m、少年女子共通三段跳の踏切板は10mの位置に設置する。
- ⑥ 走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合は、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。
- ⑦ 走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は次のとおりとする。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば、日本記録または大会記録を超える高さにバーを上げることができる。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以後
走高跳	成年女子	1m60・70	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	1m78	1m81	1m84	3cm
	少年男子共通	1m90・2m00	1m95	2m00	2m03	2m06	2m09	2m12	2m15	2m18	3cm
	少年女子共通	1m59・69	1m62	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	1m83	3cm
棒高跳	成年女子	3m40・70・90	3m40	3m60	3m70	3m80	3m90	3m95	4m00	4m05	5cm
	少年男子A	4m40・60・80	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	4m95	5m00	5m05	5cm

(3)リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入のうえ、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までにT I Cに提出すること。

ただしオーダー用紙提出後、招集完了時刻までに競技者の負傷等によりオーダーを変更する場合は、主催者が任命した医務員の了解を得た上で「リレーオーダー変更届」をT I Cに提出すること。

- ② 「リレーオーダー用紙」は監督会議時に配布し、予備はT I Cに用意する。また、「リレーオーダー変更届」はT I C・第2競技場医務室に用意する。
- ③ リレー競技における使用マーカーは主催者が用意する。ただしマーカーの除去については使用したチームが行うこと。
- ④ 男女混合4×400mリレーのオーダーは男女2名ずつの編成で、男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名を必ず選出し、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別から選出する。走順はチーム裁量で決定する。（走順に関して男女及び種別は規制しない。）

- (4)抗議は、競技規則 TR8 に定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とする）内に競技者自身または代理人が、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にT I Cの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員をとおして裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内にT I Cに申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員をとおして伝える。

(5) 助力について

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。
- ② ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォン、その他の類似機器を競技場内に持ち込んではいない。
- ③ 助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。ただし、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

(6) 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことで競技者に知らされる。

8. 競技器具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したもとする。

ただし競技場に備え付けのない投てき用具（投てき用具一覧にないもの）または同じ投てき用具が複数ない場合は持ち込みを認める（日本陸連検定品に限る）。その際、競技者は招集完了時刻の75分前までに、T I Cに投てき用具を持参し、併せて「投てき用具検査申請書」を提出すること。T I Cで投てき用具を受け付けた際には「投てき用具預り証」を当該競技者に発行する。当該種目の競技終了後にT I Cにて「投てき用具預り証」を確認した上で、当該競技者に返却する。

競技場備え付けの投てき用具は「16. 栃木県総合運動公園陸上競技場投てき用具一覧」を参照。

なお、検査に合格した投てき用具については、一括借り上げとなり、参加競技者間で共有できるものとする。

9. 競技用靴について

スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。また、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

靴底の厚さは、800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。競歩種目は40mm以内とする。フィールド種目では三段跳を除く種目は20mm以内、三段跳は25mm以内とする。

靴底の厚さについて招集所で検査は行わないが、競技役員や審判長が疑義を抱いた場合は検査を実施し、規程違反は失格となる。

10. ドーピング検査について

(1) 検査は日本アンチドーピング規定、及び関連規則に基づき実施する。

(2) ドーピング検査に該当した競技者は、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、競技役員の指示に従い検査を受けること。

11. 種目別表彰について

(1) 各種目1位～8位までの入賞者（リレーは1チーム4名）を表彰する。

(2) 入賞者はミックスゾーンを出たあと、競技役員の誘導により、インタビュールームを経由して表彰者待機場所まで移動すること。

12. 総合表彰式について

男女総合成績第8位までに入賞の各都道府県は代表1名（優勝チームは2名）、女子総合成績第8位までに入賞した都道府県代表1名（優勝チームも1名）は、大会最終日の14時30分までに、メインスタンド1階中央の表彰者待機所に集合すること。

13. 一般連絡・注意事項

(1) 衣類の広告に関する取扱いは、「競技会における広告及び展示物に関する規定」に従い、違反に対しては主催者において処置する。表彰を受ける際もこれを適用する。

(2) 更衣室は第2競技場に男女別に設置する。更衣の際の荷物は各自で管理すること。万一のことがあっても主催者は責任を負わない。

(3) 競技終了後の記録は、栃木陸協Webサイト内の速報ページで発表する。

(4) メイン競技場での横断幕の設置可能な場所は、2階観客席の最上部安全柵のみとする。（ただし

- ゲート1上部～メインスタンド～ゲート2上部は不可。)横断幕の設置・撤去は別途案内する。
- (5)応援は競技運営に支障のないよう行うこと。発声を伴う応援(集団応援も含む)は禁止する。観客席は十分に間隔をあけて座り、感染症対策に努めること。またフィールド競技試技時の応援は、トラック競技の進行の妨げにならないよう慎むこと。
- (6)スタンドの通路に立っての応援や観戦はしないこと。
- (7)車いす席を本来の目的以外に使用することを禁止する。
- (8)応急処置を必要とする時や、その他健康上の問題が生じた場合は、競技役員に申し出て、医務室を利用することができる。
- (9)競技場内での疾病や傷病などの応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わないものとする。
- (10)競技会期間中の貴重品の管理は、各自で行うこと。
- (11)競技者の遺失物は、T I Cにおいて10月10日(月)午前16時00分まで管理する。
- (12)棒高跳のポール輸送の取り扱いは、下記のとおりとする。
- ① 送り主が宅配便等により、下記送り先に期日指定で発送する。
- ② **【送り先】** 〒322-0015 栃木県鹿沼市上石川1823-1
佐川急便株式会社 栃木営業所 気付 いちご一会とちぎ国体2022
TEL 0570-01-0367
- 【指定配達日】** 10月3日(月) 佐川急便栃木営業所 必着
- 【問い合わせ先】** 〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田6-4-37 (一財)栃木陸上競技協会
TEL 028-612-8594 FAX 028-612-8549
メールアドレス 77kokutai.tochigi@gmail.com
Webサイト <http://www.jaافتochigi.jp/index.htm>
- ③ 送付された棒高跳のポールは第2競技場器具庫(フィニッシュラインの奥)で保管する。使用の際は担当競技役員に申し出ること。
- ④ 競技終了後、ポール保管場所近くのポール宅配受付に宅配幹旋業者の窓口を設けるので、各自で返送手続きをすること。10日(月)の最終日、窓口開設終了時刻までに行うこと。なお、各日の窓口開設時間は、別途周知する。
- (13)記録証の交付を希望する競技者は、T I Cにある「記録証交付願」に必要事項を記入し、記録証発行代500円(郵送料込)を添えて申し込むこと。記録証は後日郵送する。
- (14)競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりIDカードを配布する。競技場内を移動する場合は、必ずIDカードを携帯すること。
- (15)トレーナーステーションとウエイトトレーニング場は第2競技場メインスタンド内に設置する。
- (16)競技関係提出書類の諸内容については、次のとおりとする。

	配布書類及び業務	配布場所	提出場所	提出及び受付時間
1	2種目同時出場届	監督会議・T I C	T I C	第1種目の招集完了時刻30分前まで
2	欠場届	監督会議・T I C	T I C	招集完了時刻の30分前まで
3	アップライト申告書	監督会議・T I C	招集所	招集時に競技者係へ提出
4	リレーオーダー用紙	監督会議・T I C	T I C	各種目第1組の招集完了時刻の1時間前まで
5	リレーオーダー変更届	T I C 第2競技場医務室	T I C	医務員の署名捺印後、招集完了時刻まで
6	抗議申立(口頭)		T I C	正式記録発表後(予選・準決)15分まで 正式記録発表後(決勝)30分まで
7	上訴申立書(文書) (預託金1万円)	T I C	T I C	審判長裁定後(予選・準決)15分まで 審判長裁定後(決勝)30分まで
8	投てき用具検査申請書	T I C	T I C	招集完了時刻の75分前まで
9	練習用投てき用具借用届	投てき場	投てき場	随時(練習場開放時間内に貸出し・返却)
10	記録証交付願(500円)	T I C	T I C	競技終了後、随時(18時まで)
11	プログラム訂正・追加届	監督会議	監督会議	10/5は16時30分まで
		T I C	T I C	10/6~10は8時30分まで

14. 練習会場使用上の注意事項

- (1) 練習は指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期すこと。
- (2) 練習に必要な用器具は主催者において準備するが、投てき用具は持参した物を使用する。なお諸般の事情により投てき用具がない場合は、投てき場で「練習用投てき用具借用届」を提出し、借用すること。
- (3) 練習会場の入退場時は、IDカードを提示すること。
- (4) 練習会場（メイン競技場、第2競技場、投てき場）での練習時の順番待ちは、当該競技者のみとし、代理者は認めない。
- (5) チューブやメディシンボール、ミニハードル、ラダー等の補助用具を使つての練習は全面禁止。
- (6) メイン競技場（カンセキスタジアム）

- ① 公式練習日はトラック種目及び走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳の使用を認める。

なお、トラックの逆走は禁止とする。また、やり投は助走練習のみ使用可とする。

競技会当日の朝の時間帯の練習は、原則トラック種目のみ使用可とする。しかし、棒高跳に限り練習会場使用日程に記載した時間での使用を認める。

- ② 使用区分

- ・ 1～2レーン：中・長距離、競歩
 - ・ 3～5レーン（ホームストレート）：短距離
 - ・ 6レーン（ホームストレート）：少年女子B100mハードル（ハードルの移動不可）
 - ・ 7レーン（ホームストレート）：少年女子A100mハードル（ハードルの移動不可）
 - ・ 8レーン（ホームストレート）：少年男子B110mハードル（ハードルの移動不可）
 - ・ 9レーン（ホームストレート）：成年男子110mハードル（ハードルの移動不可）
 - ・ 3～7レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離、リレー
 - ・ 8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：女子300mハードル、400mハードル
 - ・ 9レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：男子300mハードル、400mハードル
- ※ 300mハードル、400mハードルの使用時間帯は「15. 練習会場使用日程」に記載する。
- ・ メインスタンド側跳躍ピット：走幅跳、三段跳
 - ・ バックスタンド側跳躍ピット：棒高跳
 - ・ Aゾーン（第1曲走路内）：走高跳
 - ・ Bゾーン（第2曲走路内）：やり投（助走練習のみ）
- ・ **芝生フィールド内：使用禁止（公式練習日および競技会当日朝も含む）**

- (7) 第2競技場

- ① トラック種目、跳躍種目の使用は原則として以下のとおりとする。なお、逆走は禁止とする。

- ② 使用区分

- ・ 1～2レーン：中・長距離、競歩
 - ・ 3～7レーン（ホームストレート）：短距離
 - ・ 8～9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル（混雑時はハードルの移動不可）
 - ・ 3～7レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：短距離、リレー
 - ・ 8～9レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：300mハードル、400mハードル
- ※ 300mハードル、400mハードルの使用時間帯は「15. 練習会場使用日程」に記載する。
- ・ メインスタンド側跳躍ピット：走幅跳、三段跳
 - ・ バックスタンド側跳躍ピット：棒高跳
 - ・ Aゾーン（第1曲走路内）：走高跳
 - ・ Bゾーン（第2曲走路内）：使用不可
- ・ **芝生フィールド内：使用可。練習会場係の指示に従うこと。**

- ③ ハードル種目及びリレー競技が行われる日は、それぞれの優先レーンを増やし、練習場を確保する。ただし、混雑時のハードル移動（インターバルの変更）は禁止する。詳細については練習会場係の指示に従うこと。

- ④ メインスタンド雨天走路は、ウエイトトレーニング場やトレーナーステーションとして使用する。バックストレート外側の雨天走路も使用不可とする。雨天時は競技役員の指示に従い、ホームストレート（仮設屋根つき）等を、安全に留意して使用すること。

- (8) 投てき場

投てき場での練習は、投てき種目のみとし、「15. 練習会場使用日程」に基づき行うこと。